

# GN地域における外資系企業の活動事例

## 進出後の成果

**GN地域の中堅・中小ものづくり企業との取引を拡大し、生産性向上に貢献**

## 企業概要

- ・ 日本法人：CemeCon株式会社（愛知県名古屋市）
- ・ 親会社：CemeCon AG（ドイツ）
- ・ 進出時期：2020年 ※2016年、東京都内に日本法人設立。工場設置に伴い本社移転。
- ・ 拠点形態：本社/製造・営業拠点



同社によりコーティングを行った  
切削工具例



ダイヤモンド・HiPIMS  
コーティング装置

## 事業概要

親会社のCemeCon AG（ドイツ）は、1986年にトニ・ライエンデッカー博士により、アーヘン工科大学（ドイツ）からスピンオフして創業。切削工具へのコーティングサービスに加え、コーティング装置の販売・保守も一貫して手がけ、世界9カ国で事業展開している。炭素繊維強化プラスチック（CFRP）の加工工具向けで多くの航空機メーカーに採用されている「ダイヤモンドコーティング技術」のほか、幅広いコーティング素材と母材において切削性能の向上が期待できる「HiPIMS技術」※に強みを持つ。

※HiPIMS技術

- ・ 高出カインパルス・マグネトロン・スパッタリング（High Power Impulse Magnetron Sputtering）の略で、高密度なプラズマを用いて、薄膜材料を形成する技術。
- ・ スパッタ・プロセスの一種であり、周期表の各元素をさまざまに組み合わせることにより、無限に多様な組成のコーティングを実現できる。（同社HPより引用）

## 進出背景

- ・ グローバルにビジネスを拡大する中で、日本での業容拡大に伴い、外部コンサルタントとして関わっていた現会長からの提案を受ける形で日本へ進出。進出当初は、コーティングサービス・装置の販売をする営業拠点を東京都内に設置。
- ・ その後、中堅・中小企業向けの工具加工コーティングサービスを展開するため、顧客となる製造業の集積、とりわけ自動車や航空機のグローバル企業の工場や部品メーカーが数多く立地するGN地域（愛知県名古屋市）に工場（製造拠点）を設置するとともに、本社についても名古屋市に移転。

## 地域経済への貢献

- ・ GN地域は、自動車、航空機産業等が盛んであり、同社のエンドユーザーとなる精密切削加工を行う中堅・中小企業も数多く存在している。また、切削加工を行うユーザーにとって、工具のコーティング処理は、高精度・高能率の加工を可能とするものであり、生産性向上に繋がるものである。
- ・ 同社は、中堅・中小ものづくり企業をターゲットとしたコーティングサービスの営業活動を続けた結果、GN地域の中小企業との取引を伸ばしており、顧客ニーズに基づく日本市場にこだわったコーティングサービスの提供を通じて、ものづくり企業の生産性向上に貢献している。